

# 英国土木学会論文賞を受賞



芝浦工業大学の稲積真哉教授（工学部土木工学科地盤工学研究室）が「英国土木学会論文賞2020」を受賞した。放射性物質の地盤内浸透挙

動を追求し、現行の掘削除去から土質特性を考慮した汚染地盤の除染対策の在り方を新たに提唱している。10月にロンドンで授賞式が予定されているが、新型コロナウイルスの流行を受け開催形式は未定という。

同賞は、特に地盤工学の分野で国際的な学術進展に顕著な功績が認めら

れた論文の筆者に贈られる。稲積教授は、学術雑誌「Environmental Geotechnics」に掲載された「放射性物質の地盤内浸透挙動に関する研究」の筆頭筆者。論文では、移流分散方

## 新たな除染対策の在り方提唱

程式に放射性物質の半減期を考慮できる項目を組み込むことで、さまざまな土質特性を持った地盤内で放射性物質の移流分散挙動を解析的に評価している。これにより、福島第1原発事故の被災地で、放射性物質の時間経過に伴う地盤内浸透挙動を精密に評価できることを明らかにした。

